

長岡市は避難計画の見直しを！ 原発ゼロ長岡市民ネット申し入れ



二月三日、矢引光明代表をはじめ八人が同席して、長岡市に、市策定の「原子力災害時の避難計画」および市民向け「原子力災害時の屋内退避・避難の行動（保存版）」を見直すよう申し入れました。

原発ゼロ長岡市民ネットは、両冊子が市民の不安や疑問に答えるものになっていないとして、これまで三回にわたり申し入れましたが、市は回答回避に終始しました。

昨年秋、原発再稼働に慎重な米山知事、磯田市長が誕生したもどで、今回改めてゼロネットがすでに申し入れをした内容を含め、市民の不安や疑問に最大限答える避難計画への見直し・再検討を行うよう申し入れたものです。

申し入れでは、見直し・再検討にあたり、①そもそも実効性ある避難計画の策定は難しいと認められた上で、被害を最小限にとどめる立場で行うこと ②市民の意見を広く聞くこと ③確定版として扱うのではなく第一次、第二次とたえず拡充をはかっていくこと、などを求めました。（申入書は別紙）

応対した原子力安全対策室の桜井課長には、これまで回答を避けてきた経緯を踏まえ、真摯に検討し文書で回答するよう強く求めました。

同課長は検討し回答したいと答えました。

**福島第1原発2号機格納容器内
毎時650シーベルトの空間放射線量(推定)が明らかに**
(2月9日東電が公表)

数十秒浴びれば人が死亡するレベルですって！

今後の廃炉作業の困難さが浮き彫りに。

「原発は人類の手に負えないもの」という思いが募ります。

福島原発事故から6年

**「3・12市民のつどい」を
これまでになく規模で成功させ
原発なくせ!の声をさらに大きく**

- ◎ネット会員みんなで一人が一人を誘って参加できるよう力をつくしましょう。
- ◎同封のチラシと整理券を活用し、ぜひご家族、友人、知人、ご近所の方に一声かけましょう。



注文相次ぐ 原発からの「距離プレート」 ニュース見て 山古志の会員Hさんから2枚

ちなみにHさん宅は、原発から28・3kmでした。注文は随時受け付けています。一枚200円です。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

オレゴンにも福島原発の放射能が！

（アメリカ在住の友人から最近Sさんに届いたメールより）

「…先月、福島のセシウムが当地オレゴン海岸でも検出されました。フクイチは福島だけの問題ではありません。日本の世界的立場を左右する大きな問題であることを認識・対応してほしいです。技術大国ならではの再生エネルギープロジェクトを推進していただきたいです。オレゴンは1996年に脱原発終了。住民投票も行われました。」

◆ 3月の街頭行動 3月11日(土) 12:00~13:00 アオーレ前 ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース 第63号 2017年2月11日発行	連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15 電話・FAX 24-2870 矢引 090-3063-6365 佐藤 090-4925-3707
---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------